



河田向山古墳群 位置図

- 今回下草刈りした範囲
- 推定墳丘（番号は仮称）

なぞとき調査隊員募集中！

健康で体力に自信のある方であればどなたでも参加可能です。興味のある方は下記電話・FAX・メールでお問合せください。活動の際にご案内します。

【今後の予定】

令和2年3月頃：下草刈り（継続）
刈った草・低木の処理
→ 現地見学会
令和2年4月以降：古墳の測量調査
※予定は変更になる場合があります。



河田向山古墳群なぞとき調査隊だより 第1号

発行：加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会
編集：加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会事務局
(小松市埋蔵文化財センター内)

〒923-0075 石川県小松市原町ト 77-8
電話：0761-47-5713 FAX：0761-47-5715
E-mail：maibun@city.komatsu.lg.jp
令和元年(2019)12月28日発行

河田向山古墳群だより 第1号 なぞとき調査隊

加賀立国1200年
遺跡魅力発信委員会

祝

調査隊結成式を開催しました！



12月14日(土) 調査隊結成式の様子(能美市泉台公園駐車場にて)

調査隊結成にあたって

加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会
会長 橋本 正準



本委員会は、令和5年(2023)の加賀立国1200年に向けて、小松市・能美市・地元の歴史団体等が連携して設置した実行委員会です。その取り組みの中心にしていきたいのが、このなぞとき調査隊の活動です。活動の場となる古墳群は、小松能美2市にまたがる雑木林の中にあり、現在まで発掘調査が行われていません。

私自身は12月19日(木)午後に調査隊に参加しましたが、登ってみて所々高く盛り上がった古墳らしきものがいくつかあるのを目の当たりにしました。発掘するとどんなものが出てくるだろうか、何かわくわくするとともに、古墳時代の政治・社会・生活等の様子を想像します。その謎解明への第一歩が下草刈り作業です。下草刈りというよりは、伐採した雑木の枝を落とし、幹を鋸で短く切る作業がメインでした。参加者は黙々と雑木の処理に余念がなく、この古墳群の謎を自分たちで解明するぞという思いが伝わってきました。令和5年・加賀立国1200年に向けて、新たな魅力を皆の力で創出しましょう！

活動報告

なぞとき調査隊では、河田向山古墳群の下草刈りを12月12日(木)～21日(土)の期間で行いました。あいにく雨天中止の日もありましたが、3.5日間の活動で延べ49名が参加しました。

14日(土)には、泉台公園駐車場で調査隊結成式を行いました。加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会事務局長の樫田誠さんが活動趣旨を説明し、同委員会副会長の山内千之さんから結成のあいさつをいただきました。最後に「調査隊がんばるぞー！エイエイオー！」の掛け声でしめくりました。

作業では、古墳群北側の仮称1・2号墳周辺で下草の刈り払いや低木の間伐を行い、仮称1号墳は直径20m前後の円墳である可能性が高いことが分かりました。

作業休憩中には、みんなで古墳や国府などについて勉強(おしゃべり?)したり、古墳群を歩いて眺めを楽しんだり、今後の活動に向けて機運が高まったと思います。



もくもくと作業中



古墳・国府 etc おしゃべり



古墳からのながめはいい?



河田向山古墳群 遠景 (西から)

仮称1号墳 Before×After

作業前



作業後



参加者のみなさん (仮称1号墳墳頂にて)